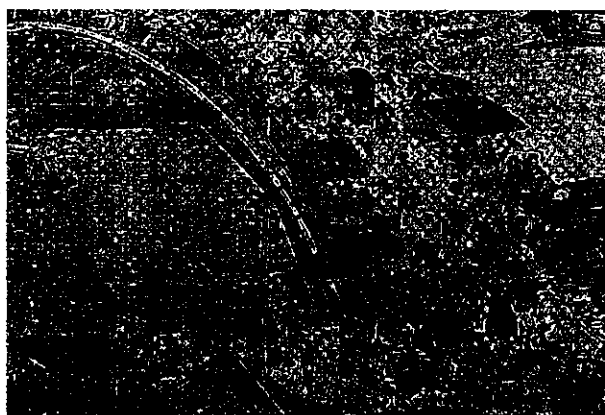
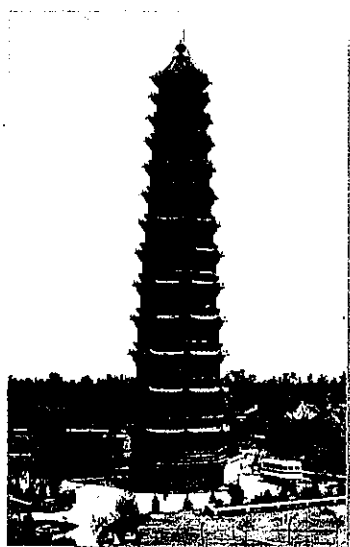
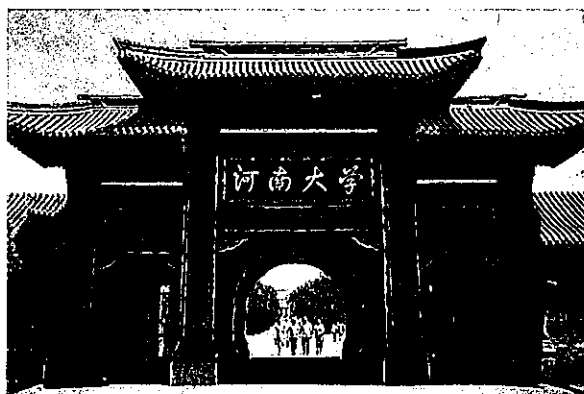


教育のまち 戸田  
平成20年度

# 戸田市 海外留学奨学生募集案内



戸田市・戸田市教育委員会

## ◆募集要項

1. 募集人員／若干名
2. 留学期間／1年以上（給与期間は、2年間で限度）
3. 留学先／各国とも、国、公、私立大学とする。（大学の入学手続については、各自で行って下さい。）
4. 給与内容／(1) 奨学資金：授業料及び生活費を給与  
(2) 渡航費用：往復航空運賃を給与  
■ (1) + (2) の限度額 (イ) 留学期間が1年以上2年未満の場合は100万円  
(ロ) 留学期間が2年以上の場合は(イ)の給与額に50万円を加算した額
5. 応募資格／(1) 父母(父母に準ずる者を含む。)及び本人が市内に引き続き2年以上居住し、住民基本台帳に登録されている人  
(2) 本人及びその世帯の者が市税を完納していること  
(3) 学校教育法の規定による大学、短期大学、大学院に在籍する人、または高等専門学校の4年若しくは5年に在籍する人、及び卒業後5年を経過しない人  
(高等学校、専修学校卒は不可)  
(4) 留学希望国の国語で意思の伝達ができる人で成績優秀、品行方正及び留学に耐え得る健康な人  
(5) 学資が不十分な人  
(6) 留学するにあたり他の奨学金を受けない人  
(7) 留学先の大学で受け入れる旨の証明書のある人  
(8) 市内に引き続き2年以上居住する連帯保証人が1人以上あること  
■ (4)について  
① 留学先が英語圏の場合（次号から第6号までのいずれの言語圏にも該当しない場合を含む。）国際教育交換協議会事務所トール事業部で実施している英語力テストの成績が450点以上の人又は英検2級以上の合格者  
② 留学先がドイツ語圏の場合、東京ドイツ文化センター語学部で実施しているドイツ語検定試験の中級以上の合格者  
③ 留学先がフランス語圏の場合、仏検事務局で実施しているフランス語技能検定試験の3級以上の合格者  
④ 留学先がスペイン語圏の場合、財団法人日本スペイン協会で実施しているスペイン語技能検定試験の4級以上の合格者  
⑤ 留学先が中国語圏の場合、日本中国語検定協会で実施している中国語技能検定試験の3級以上の合格者  
⑥ 留学先がロシア語圏の場合、学校法人日ソ学園東京ロシア語学院で実施しているロシア語学力検定試験の中級以上の合格者
6. 申請手続／(1) 申請書類  
戸田市海外留学奨学資金等給与申請書に次の書類を添えて教育委員会へ提出  
◇住民票の写し（世帯全員） ◇市税完納証明書（世帯全員）  
◇成績証明書 ◇在学証明書又は卒業証明書  
◇世帯全員の所得証明書 ◇健康診断書  
◇留学先大学の受入証明書（日本語訳添付） ◇語学力証明書（上記(4)）  
◇父母(父母に準ずる者を含む。)の同意書（書式は問いません）  
※給与決定後に別途書類が必要です  
(2) 受付期間：第1回 平成20年6月13日～7月7日  
第2回 平成21年1月16日～2月6日  
(3) 受付窓口：戸田市教育委員会 総務課 総務担当
7. 選考／戸田市海外留学奨学資金等受給者選考委員会において書類審査及び本人面接等によって選考されます。

●お問い合わせは

戸田市教育委員会 総務課 総務担当

〒335-8588 戸田市上戸田1丁目18番1号 電話 048-441-1800 (内線 305)



# 戸田市海外留学制度について

戸田市には、海外留学奨学資金等の給与制度があります。

この制度は、前途有為な青年を育成するために、市内在住であった故金子正夫様から寄附金を受けたことに始まります。

そのとき、奨学生の資格として

- ①戸田市民であること
- ②海外の教育機関で正規の教育を受けること
- ③海外の教育機関で学究に志すこと

を挙げられました。

市ではこの趣旨に沿った「戸田市海外留学奨学資金等給与条例」を制定し、海外留学奨学資金等を給与する制度を発足させました。以後何度かの改正を経て現在に至っています。

本制度の奨学生は平成19年10月現在、45人にのぼり、様々な分野でご活躍されております。

右記のレポートは、本制度を利用して留学された方の体験談です。

## ◆制度に関するQ&A

**Q** この制度を利用したいのですが、年齢制限はありますか。

**A** 年齢制限はありません。ただし、現在社会人として働いている方や、規定にある学校を卒業して5年が経つ方は申請できません。

**Q** 留学する大学は、国立でなくてはいいませんか。

**A** その国の正規の教育課程を履修するための大学・大学院であれば、国立でも私立でも問題ありません。

**Q** 奨学生になることによって、何か特別な義務はありますか。

**A** 留学報告書やパンフレットに掲載する体験談の提出のほか、帰国後に国際理解教育や留学によって得られた専門分野の活用について、学校や地域への積極的な貢献を期待しています。

**Q** 奨学金はいつまでに返済すればいいのですか。

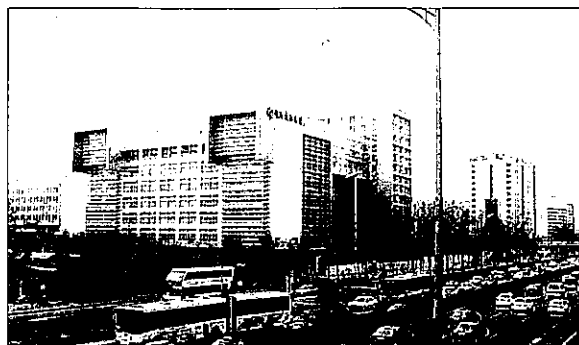
**A** 本制度の奨学金は無償給与であるところに特徴があります。奨学生は返済を心配することなく勉学に専念しています。

**Q** 選考委員会では面接があると聞きました。過去に面接の経験がないので不安です。

**A** 面接では、あなたがどうして留学しようと思ったのか、何を学びたいのかを中心に質問します。留学の動機や目的がしっかりしていれば、それほど難しいものではありません。

# 留学レポート

池田美耶



私が中国での留学を終え、日本へ戻ってから2年半の月日が過ぎました。現在は市内の企業で中国人研修生の指導員として、日本での生活や文化、言語など一般的なことを教えたり、生活上のサポートをしています。留学時に中国の習慣や文化を学んだことは、この仕事をする上で大変役立っており、その成果を生かした仕事に携わることができたことにより、充実した毎日を送っています。

私は日本の大学の中国語学科を卒業した直後に北京へ行き、首都師範大学文学部に留学しました。最初の頃は、日本で4年間も勉強していたのに言葉が通じないこと、わからないことが多く、かなりショックを受けました。知り合いもほんの数人程度、クラスにも外国人はいないという環境で、ホームシックになったりもしました。それでもだんだんとクラスメイトや日本語を学習している中国人学生、同じ寮に暮らす様々な国の学生との交流が増えるにつれ、自然と解消されていきました。多くの知識を学ぶことも大事ですが、この留学によって出会えた多くの仲間たちは、今でも本当にすばらしい宝だと思っています。

当時から、中国へ留学する日本人は多く、各地から様々な目的を持った仲間たちが集まっていました。学生から社会人経験者までの幅広い、様々な経験を持つ仲間たちと切磋琢磨することは、大学卒業直後に留学した私にとって、自分の知らない世界を知り、帰国後の展望を開く契機となりました。特に人生の先輩たちからのアドバイスは大変ありがたく、非常に役に立つものとなりました。また、中国をはじめ様々な国の学生たちと友情を築き上げることは、日本ではなかなか経験できないことであり、彼らの目を通じて私の知らない日本を見ることができたのは、日本という国を知るためのよい機会であったと思います。意外にも日本人のほうが知らないことも多く、文学・伝統文化から最近の若者文化まで彼らの知識の豊富さには驚かされました。

授業は主に古典文学や現代文学、外国文学などの授業がありました。中学時代から漢文が好きだった私は、特に古典文学の授業が好きだったのですが、一番思い出深いのは外国文学の授業でした。この外国文学の授業では、最初の学期に発表があり、もちろん私も発表をしなければなりません。中国人の学生の中にはパソコンや音響設備を駆使し、ユニークな発表をしている人もいましたが、私は外国文学の授業ということなので、中国でも有名な日本の作家、大江健三郎についてまとめたものを発表しました。自分で書いた中国語が通じるのか、もちろん不安でしたが、教育、文化が違うことで作品の解釈も大きく変わるので、その点でも理解してもらえるのか大変気になりました。そしてなにより、大きな階段教室を埋め尽くす聴衆の前で発表することに緊張しました。しかし、発表が終わった後の大きな拍手と、クラスメイトからたくさんの労いの言葉をもらったとき、やっとクラスの一員になれたと感じました。

思い返せばこの留学期間中、楽しいことばかりでなく、勉強や生活面での悩みもたくさんありました。それでも、今ではそれらすべて含めて、自分自身を成長させてくれたすばらしい経験であったと思っています。人生の中でこれほど密度の濃い経験ができることは、なかなかありません。このような機会を与えていただいたことに感謝しています。